

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ネイスぷらす浦和美園校		
○保護者評価実施期間	2025年12月10日		2025年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年12月10日		2025年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が大きな怪我をすることなく、通い続けていただくことができること。	ヒヤリハットが発生した際は、職員間で日々話し合い、安全な支援を行うことができるようにしています。 また、日々の朝礼でどのように支援を行っていくかの方向性を話し合い、職員で意思の疎通を図っています。	安全に運営することができた場合でも、職員の支援が問題なかったのか、改善すべき点がなかったのかを話し合う時間を設けます。
2	児童の段階に合わせた支援を行うことが出来ていること。	各曜日や来所児童ごとに活動内容を一部変更し、児童の学年や段階に合わせた支援を行うことができると職員全員で考え、取り組んでいます。	小学校や他事業所との連携を必要に応じて深め、より各々の児童に寄り添った支援を行うことができるようにしていきます。

3	個人情報は最新の注意を払って取り扱うことができていること。	職員間で個人情報の取り扱いのルールを確認し、そのルールに基づいて業務を行うことができるよう、分担をしています。	ルール通りに業務が行われていることを職員間で確認し合い、万が一の抜けや漏れも無いよう対策します。
---	-------------------------------	---	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急時のマニュアルがご利用者様へ周知しきれていなかったこと。	契約の際にご説明をして終わりになっている部分があり、詳細なご説明を定期的に行うことが出来ていませんでした。	教室内のより分かりやすい場所へマニュアルを移動させたりマニュアルの場所がどこにあるのか、すぐに分かるように案内をしたりすることで、安心してご利用いただけるようにしていきます。
2	SNS等で、児童の活動している様子を皆様へ共有する頻度が少なかったこと。	幼稚園保育園との連携が可能であることを利用者様に周知しきれていなかった。	面談の際などに、改めて関係機関連携が可能なることを、必要性をお伝えしていきます。
3	来所児童の人数によっては、活動室がやや手狭になってしまうこと。	活動の安全等を優先するばかりに、支援中のお子様の様子を映像や写真に収めることがあまりできていませんでした。	より詳細に、各職員の動きを確認し、SNSに載せる映像や写真をどのように確保するのか、話し合っていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ネイスぷらす浦和美園校		公表日		2026年 2月 9日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	その日のご利用者様に合わせて支援内容を変更して、安全に支援を提供できるよう工夫できている。利用スペースに関しては概ね、適切と感じています。	特にありませんが7人受け入れになると手狭になるときもあります。通所人数が7人になってくると、部屋のスペース等狭さを感じるケースもあります。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	適切ではあると思います。サーキットや待機場所において職員の配置人数などを工夫して安全確保に努めています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	柱による死角があるが職員同士が配置等工夫して事故防止に努めています。	窓枠など角になっている部分が複数存在し、マットを置くなどの対応も行っていますが、コーナーガードを設置するなどの対応も併せて行ってまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1		床のマットは清掃だけでなく、定期的に交換する等、より清潔な状態を保てるような工夫を検討していきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	相談室です。	相談室はあるが物品が多いため安全確保に注意が必要です。	
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0			

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	管理者に相談できています。職員間共有に関しては、日々の業務の中で話し合いの機会を業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0		社内社外の監査チームによる定期的な評価等を行い、業務改善に努めております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	月初会議で機会が確保されていると感じます。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	公表されております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	行っております。個別支援会議で意見の共有ができています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	会議で行っている個別支援会議で共有できており、会議に出席できなかった職員は個別で確認を行っております。支援会議の時間を設け、職員間の意見交換を行いより良いサービス提供案ができるよう検討を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	サービス提供記録の下にある職員共有欄で確認ができています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	サービス提供記録の下にある職員共有欄で確認ができています。また、終礼で行動観察の結果を共有し記録することにより確認ができています。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		より高い支援を提供できるよう、職員で設定を行っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	毎週月曜日にチームで立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	専門的支援実施に沿った内容や、年間カレンダーのテーマを確認してサーキットを組むといった工夫ができています。体操プログラムなど、週替わりで考えて実施しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	状況の応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝礼で確認ができています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	終礼で確認ができています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	サービス提供記録、業務日報、業務チェックリストで記録をすることで振り返ることができています。	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		

	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	自分以外の考えを知ることによって選択肢の幅を広げる支援や、自己決定した結果をフィードバックする機会の提供を行っています	
関係機関や保護者との	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	相談支援事業所とのやり取りは、基本的に管理者もしくは児発管が行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	3		ご利用者様からのご要望を基に行っているため、こちらから情報共有についてのご提案を今後は積極的に行ってまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2		お子様への支援の質を今以上に高めるために、さらに情報共有を必要に応じて行っていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5		ご利用者様からのご要望に応じて行う準備はしているものの、行う機会は少ないため、周知を行ってまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		助言を受ける機会をより多く設けることが、支援の質の更なる向上につながると思います。

連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		課題として感じているが、保護者様からの様々な意見をいただいているため、会社としては必要性を含めて引き続き検討していきます。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		これまで以上の頻度で参加していく必要があると感じます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	支援後のフィードバックで伝えることができているほか、必要に応じて面談を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	専門的支援実施を行う中でご自宅内での対応に関する情報提供を行っている。	会社としても開催に向けて前向きに検討を進めております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
保護者への	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	5		会社としても開催に向けて前向きに検討を進めております。

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1		提供記録や日々のフィードバック以外で皆様に知っていただく機会を設けることができるよう、職員間で検討していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0		
非常時等の対	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	契約時に記入いただくフェイスシートにて確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	保護者様からいただいた情報をもとに対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	毎月の全体会議で研修、訓練を実施し、それを基に支援しています。	

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		